パーソナルコンピューターの セットアップ

1 本日のメニュー

- パーソナルコンピューター(以後PC)の基本設定
- 授業で使うアプリケーションのインストール
- 利用上の諸注意
- タイピング練習について

2 PCを起動する

PCに付属していたACアダプターをコンセントに挿し、PCにつないでください。 特にコンセントにささっているかどうかはしっかり確認すること。

「LANケーブル(テーブルの上にある青色のケーブル)」は、まだ**つながないでください**。これは、セットアップで無用な処理をさせないためです。

それでは、PCの電源ボタンを押してPCを起動しましょう。

3 基本設定

PCを起動したら少しずつセットアップをしていきます。

「こんにちは!コルタナと申します。」と表示されたら、しばらく待ってください。

音声が大きくてうるさいと思いますので、画面右下にある アイコンをクリックして**音量を調節してください。**

コルタナが表示されない場合はそのまま進めます。

しばらくすると、いくつか質問をしてきます。下記の通りに選択し、「はい」や「次へ」をクリックしてください。それ以外のボタンをクリックする場合は、その都度指示があります。

お住まいの地域:

日本

キーボードレイアウト:

Microsoft IME

2つめのキーボードレイアウト:

「スキップ」をクリック。

ネットワークに接続しましょう:

左下の「インターネットに接続していません」をクリック。

後で時間を節約するために今すぐ接続:

「いいえ」をクリック。

Windows10使用許諾契約:

内容を確認してから「同意」をクリック。

設定する方法:

個人用に設定。

このPCを使うのは誰ですか?:

半角英数字であなたの名前またはニックネームを入力します。 漢字、ひらがな、カタカナ、それから記号や空白は使わないでください。

3.1 パスワードの設定

パスワードはできる限り長く、複雑で、それでいて、覚えやすいものでなければなりません。また、他のサービスで使用しているパスワードをそのまま使い回すことは避けます。

といっても、どうすればいいのか分からないと思います。 簡単な方法は、**自分だけがよく知っている文章**を少しのルールで変形することです。

【例】

文章: カルタゴは滅ぶべきである

ルール1: 文章をローマ字にする.

ルール2: 単語の1文字目を大文字にする.

ルール3: 先頭にサービスの略称をつける(microsoftアカウントならmsなど).

上記の文章をこのルールで変形すると、

カルタゴは滅ぶべきである → karutagohahorobubekidearu

ightarrow KarutagoHaHorobubekiDearu ightarrow msKarutagoHaHorobubekiDearu

というように、27文字のパスワードを作ることができます。

このように、ルールを定めることで、長いけれど覚えやすいパスワードを作ることができます。多少入力が大変だと感じるかもしれませんが、長いパスワードほど安全です。ですから、**少なくとも15文字以上のパスワードを作成してください。**

別のサービスなどでパスワードが必要となった場合は、先頭のサービスの略称だけを変えます。すると、パスワードは全く同じではなくなります。仮にあるサービスからパスワードがもれてしまっても、上記のルールを知らない限り、別のサービスに影響することはありません。

3.2 基本設定(続き)

セキュリティの質問:

パスワードを忘れたり、ハッキングされたときに、そのPCの正当な所有者であることを確認できるように設定するのですが、実際のところは危険度が増すだけです。適当な問題を選び、ありえない答えを設定して、この質問のことは忘れてください(メモをしなくても覚えられる自信があるなら、覚えておくほうが良いですが)。

PINのセットアップ:

PIN(Personal Identification Number)は、ようするに暗証番号です。Windowsでは「英字と記号を含める」をクリックすると、パスワードと同じ文字が使えます。ここにチェックを入れて、パスワードと同じにしてしまうのが簡単でしょう。

指紋認証:

「セットアップ」をクリックし、指示に従ってください。

AndroidまたはiPhoneをこのPCとリンクする:

左下の「後で処理する」をクリック。

OneDriveでファイルを保護:

左下の「このPCにのみファイルを保存する」をクリック。

Cortana(コルタナ)の設定:

「同意」をクリック(コルタナはiPhoneのsiriみたいなものです)。

アクティビティの履歴を利用してデバイス間でより多くのことを行う:

「いいえ」をクリック。

デバイスのプライバシー設定の選択:

すべて「いいえ」にして「同意」をクリック。

すべての設定が終わり、セットアップが開始されたら、デスクトップ画面が表示されるまでしばらく待っていてください。デスクトップ画面が表示されると、自動的に Edgeブラウザが起動します。

ブラウザが起動したら、PCにLANケーブルを挿してください。

3.3 Edgeの設定

Edgeが起動すると、言語設定画面になります。最初は「United States(English)」になっているので、「日本語」に変更してください。その後「Get started」をクリックします。その後、ウィンドウ右上の「×」ボタンをクリックしてEdgeブラウザを閉じてください。

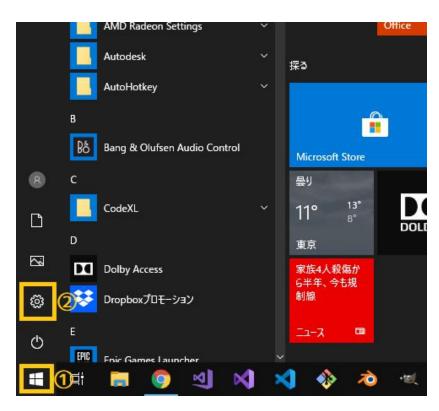
これで基本部分のセットアップは完了です。

4 Microsoftアカウント

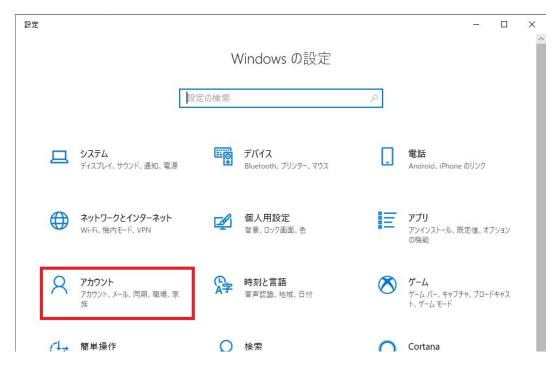
4.1 アカウント管理ウィンドウを開く

みなさんは「**Microsoft(マイクロソフト)アカウント**」を持っていないと思いますので、アカウントを作成していきます。Microsoftアカウントは、あとでVisual Studioを使うときに必要になります。

まずはアカウント管理ウィンドウを開きます。左下のスタートボタンをクリックし(①)、次に歯車アイコンをクリックします(②)。



すると、「Windowsの設定」というウィンドウが開きます。ウィンドウの中に「アカウント」という項目がありますので、これをダブルクリックします。

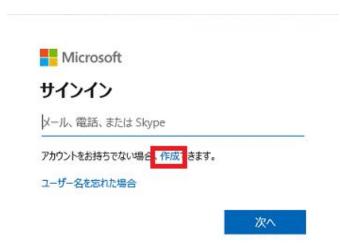


今度は、「ユーザーの情報」というウィンドウが開きます。もし違うウィンドウが開いていたら、左側の「ユーザーの情報」をクリックしてください(①)。

次に、「Microsoftアカウントでのサインインに切り替える」という文章をクリックします(②)。



すると、「サインイン」ウィンドウが開きます。もし、Xboxなどで既にMicrosoftアカウントを作成している場合は、その情報を入力して「次へ」をクリックし、4.3へ進んでください。作成した覚えがない場合は「作成」という文字をクリックしてください。



4.2 メールアドレスの作成・設定

アカウントを作成するには、メールアドレスが必要です。PC用のメールアドレス、またはGmailのアドレスを持っている人は、そのアドレスを使ってください(①)。 スマホや携帯電話のメールアドレス(docomo.co.jpなど)は使えません。

PC用メールもGmailも持っていない(スマホのメールアドレスしか持っていない)場合は、新規に作成します。「新しいメールアドレスの取得」という文章をクリックしてください(②)。



アドレスは好きに決めてもらって構いませんが、覚えやすい名前にしておくほうがいいでしょう。一般的には自分の名前をそのまま使うことが多いです。しかし、世の中には同姓同名の人がいるものです。自分の名前が既に取得されている場合は、末尾に好きなものの名前や適当な数字を付け加えるといいでしょう。

outlook.jpについて

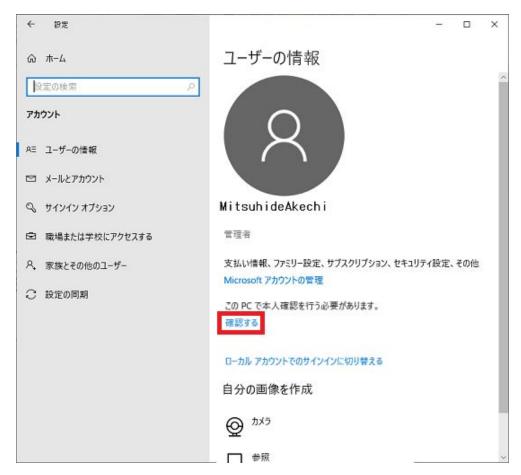
「outlook」というのはMicrosoftが運営する無料の個人向けメールサービスです。outlookのメールアカウントを作成した場合、定期的(週に1回程度)にメールの確認をしてください。

outlookのメールを確認するときは、スタートボタンを押してメールアプリを選択します。または、Edgeブラウザでoutlook.comにアクセスして「サインイン」する方法もあります。ブラウザ版はスマホからもアクセスできるので便利です。

その後、パスワードとPINの設定を行います。セットアップで作成したのと同じものを 入力してください。個人情報の入力を求められたら、適切に設定してください。

4.3 本人確認を行う

MSアカウントを作成したら、「ユーザーの情報」ウィンドウに戻ります。下の画像のように「確認する」という文字が表示されている場合、本人確認が必要です。「確認する」の文字をクリックして、指示に従ってください。



本人確認が済んだら、msアカウントの作成は完了です。右上の「×」ボタンをクリックしてウィンドウを閉じてください。

これでMicrosoftアカウントの作成は完了です。

5 Visual Studioのインストール

5.1 webブラウザの起動

「Visual Studio(ビジュアル・スタジオ)」はMicrosoft社が開発したアプリケーションの統合開発環境(IDE)です。インストールするにはインターネットから「インストーラー」をダウンロードして起動しなければなりません。ダウンロードにはwebブラウザを使います。

まず、左下にあるアイコンをクリックしてください。



すると、次のような画面が表示されます。



これが「スタートメニュー」と呼ばれるものです。左側に並んでいるのはよく使うアプリやWindowsの設定、電源管理を行うためのメニューです。

右側のタイル状に並んでいるのがカテゴリーごとに分類されたアプリです。起動したいアプリをクリックすることで、そのアプリが起動します。

さて、Windows 10の標準的なwebブラウザは「Microsoft Edge(マイクロソフト・エッジ)」です。スタートメニューの中にある

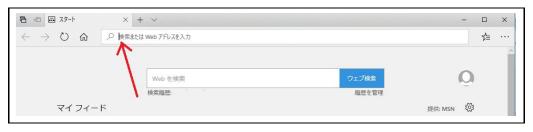


というタイルがEdgeアプリです。このタイルをクリックしてブラウザを起動しましょう。

5.2 インストーラーのダウンロード

ブラウザが起動したら、ウィンドウ上部にある「<mark>検索またはwebアドレスを入力</mark>」という欄に、下記のアドレスを入力してEnterキーを押してください。

visualstudio.microsoft.com/ja/downloads/



すると、次の画面に移動します。



Visual Studioには、学習用・個人・極小規模開発向けのCommunity(コミュニティ)、小~中規模開発向けのProfessional(プロフェッショナル)、中~大規模開発向けのEnterprise(エンタープライズ)という3種類のバージョンがあります。このうち、コミュニティだけは無料で使用できますので、みなさんにはコミュニティを選択してもらいます。

左側のVisual Studio 2019(ビジュアル・スタジオ・2019)と書かれたパネルの左下のほうに、「無料ダウンロード」と書かれた部分がありますので、そこをクリックしてください。

すると次の画面に移動します。



少し待つと、ブラウザの下の方に横長のウィンドウが出現すると思います。Edgeアプリが、ダウンロードしたファイルをどう扱うかを聞いてきているのです。今回は「実行」をクリックしてください。すると、Visual Studioインストーラーが起動します。

5.3 VIsual Studioのインストール

Visual Studioインストーラーが起動したら、「続行」を押して先に進みます。
Visual Studio Community 2019と書かれている下に「インストール」というボタンがあるのでそれをクリックします。しばらく待つと次の画面が表示されます。



この画面ではインストールする機能を選択していきます。

まず、「C++によるデスクトップ開発」という機能が必要です。機能名の右にある空欄をクリックするとチェックマークが付いて、インストール対象として選択されます。

さらに「C++によるゲーム開発」という機能も必要です。ウィンドウの中ほどに「スクロールバー」という表示内容をスクロールさせるものがあります。色が薄いので見づらいですが、これをドラッグすると画面が動きますので、下の方を表示してください。そして、「C++によるゲーム開発」の空欄をチェックしてインストール対象にしてください。



2つの項目にチェックを入れたら、右下の「**インストール**」というボタンを押してください。すると、インストールが開始されます。終了するまでしばらく時間がかかりますので、読書や飲み物を飲むなどリラックスして待ちましょう。

5.4 Visual Studioを動かしてみる

インストールが完了すると、Visual Studioのスタートアップ画面が起動します。



無事にインストールが完了したことを確かめるために、少し操作をしてみましょう。 まず「新しいプロジェクトの作成」をクリックしてください。

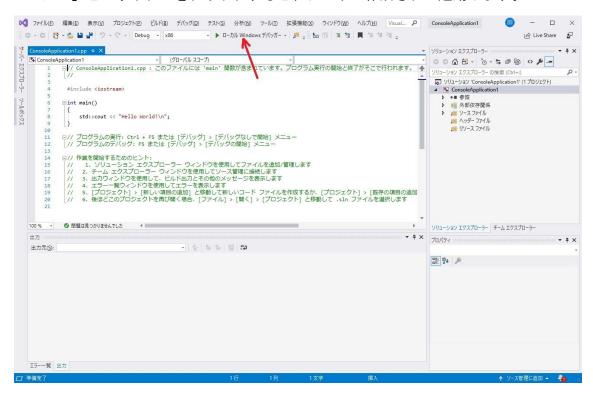
すると以下の画面が表示されます。「**コンソール アプリ**」をクリックして選択したら、「次へ」ボタンをクリックしてください。



今度は、以下の画面が表示されます。右下の「作成」ボタンを押すと、アプリを作成するためのファイルが用意され、Visual Studioの本体が起動します。

コンソール アプリ C++ Windows コンソール			
プロジェクト名			
ConsoleApplication1			
場所			
C:¥Users¥rabit¥source¥repos			
ソリューション名 ①			
ConsoleApplication1			
□ ソリューションとプロジェクトを同じディレクトリに配置する			

そして、次のような画面が表示されます。上部中央付近にある「ローカルWindowsデバッガー」というボタンをクリックすると、アプリが作成されて起動します。



そして、以下のような黒いウィンドウが表示されると思います。



この背景が黒のウィンドウは「<mark>コンソール・ウィンドウ</mark>」といいます。このアプリは コンソール・ウィンドウを開き、「Hello World!」と表示するだけのものです。

この画面が表示されたら、インストールは問題なく完了しています。何かキーを押すとコンソール・ウィンドウが閉じられます。Visual Studioの右上の「×」ボタンをクリックして、Visual Studioを終了してください。

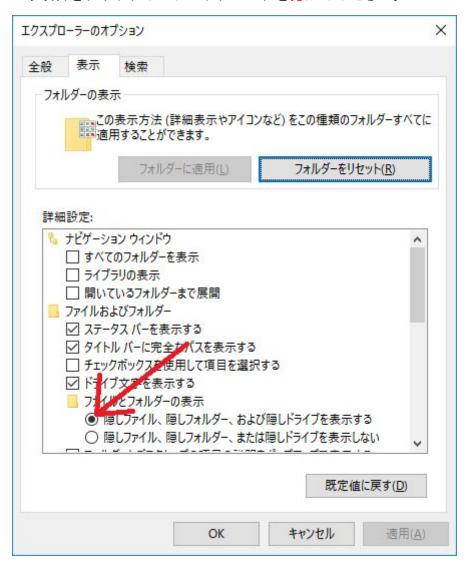
6 PC基本設定

ここからは、プログラムを作っていく上で、やっておいたほうがいいPCの設定をしていきます。

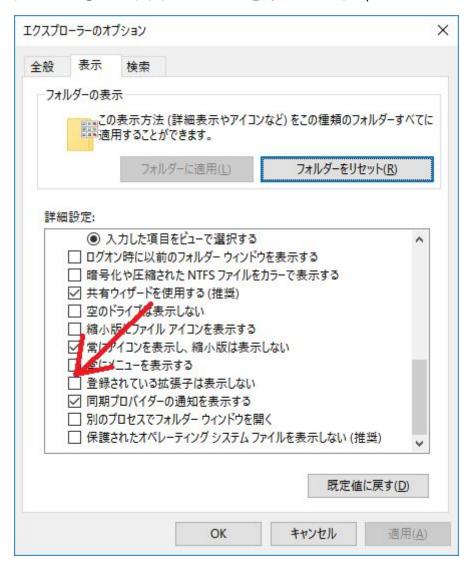
キーボードの左下にあるWindowsキー(ル名を指定して実行」という小さなウィンドウが開きます。このウィンドウの入力欄に「control folders」と入力して「OK」ボタンを押してください(Iとfの間のスペースを見落とさないように)。

すると、「エクスプローラーのオプション」というウィンドウが開きます。 最初は「全般」タブが選択されていますので「表示」タブをクリックしてタブを切り 替えます。

切り替えたら、「隠しファイル、隠しフォルダ、および隠しドライブを表示する」という項目をクリックしてチェックマークを付けてください。



次にスクロールバーを使って表示内容をスクロールさせ、「登録されている拡張子は表示しない」という項目のチェックを外してください(チェックのない状態にします)。



他の項目を変更する必要はありません。2つの項目の設定が済んだら「OK」ボタンを押してウィンドウを閉じます。

7 PCの取り扱い

7.1 アカウントとパスワード

校内のPCは全て下記のアカウント名とパスワードが設定されています。

アカウント名: vantan

パスワード: vantan

7.2 学校のPCはみんなで使うもの

学校のPCは学校の所有物であって、先生はもちろん学生のみなさんが共有して使うものです。自分だけが使うものではありませんので、丁寧にあつかってあげてください。飲食の際など、キーボードやマウスを脇に動かして汚れないようにする、といった配慮をお願いします。

学校のPCについては、壁紙やアイコン、解像度などの変更は禁止です。

7.3 学校のインターネット回線について

学校のインターネット回線はみなさんのご家庭より多少強力なだけで、無尽蔵ではありません。みんなが好き勝手に音楽や動画を見てしまうと、あっという間に通信量の限界がきて、授業で必要なソフトやデータをダウンロードすることができなくなってしまいます。

ですから、学校のインターネットの利用は、できるだけ学校での活動に関連するもの、授業や課題のために必要なものだけにしてください。音楽を聞きながら作業をするといった利用については、みなさん自身のスマホやWi-Fiルーターなどで行ってください。

また、学校のPCでSNSやWebメールを見ることは構いませんが、ログインしたままにしないように注意してください。多くのwebブラウザには「プライベートブラウズ」と呼ばれる仕組みがありますので、校内ではそれを利用してください。プライベートブラウズでは、閲覧履歴やログイン情報がウィンドウを閉じた瞬間に削除され、PCには残りません。

Edgeの場合は右上の「…」の部分をクリックすると「新しいInPrivateウィンドウ」という項目があります。これをクリックすると、プライベートブラウズ用のウィンドウが開きます。開いたら古いほうのウィンドウは閉じてしまいましょう。他のwebブラウザにも同様の機能がありますので活用してください。

7.4 個人のPCの利用について

個人のPCのカスタマイズ等は自由に行って構いません。みなさん自身の所有物なのですから、これは当然の権利です。

ですが、あまりあれこれと設定したりさまざまなソフトをインストールしすぎると、容量不足になったりPCの動作が不安定になり、授業に差し障りが出ることがありますので注意してください。

それから、PCは精密機器です。**落としたりぶつけたり濡らしたりすると壊れます。**気をつけましょう。特に**液晶パネルは壊れやすい**ので、かばんにものを詰め込んで押しつぶすような状態にはしないように気をつけてください。

もし壊れてしまっても1回は無料で修理に出せますので、そこは安心してください。ですが、修理が終わるまでPCが使えなくなってしまいますから、日頃から丁寧に扱うように心がけましょう。

個人用のPCといっても、授業で使う教材であるということは絶対に忘れないでください。そのPCに何かあったとき、一番困るのはみなさん自身なのですから。

8 Shareフォルダについて

Shareフォルダは「<mark>どの教室からでもアクセスできる記憶領域</mark>」です。 主に課題の提出や教材の配布に使います。

どこにあるかですが、まずWindowsキーを押しながらRキーを押して「ファイル名を指定して実行」ウィンドウを開きます。そして、入力欄に「\\10.67.1.2」と入力して「OK」を押してください。すると、Shareフォルダが開きます。

ユーザー名とパスワードを求められた場合、両方とも「vantan」と入力してください。

場所を番号で覚えておくのは面倒なので、デスクトップにショートカットを作っておくといいでしょう。

9 コンピューターウィルス対策

9.1 自分のためだけではない

コンピューターウィルスについて、みなさんなんとなくご存知かと思います。 コンピューターからコンピューターへとコピーを繰り返して悪さをするソフトのこと を、現実のウィルスになぞらえて「コンピューターウィルス」と呼ぶようになりまし た。

みなさんのご家庭のPCがウィルスなどに感染した場合、みなさん自身の責任でなんとかなるかもしれません。しかし、いまみなさんの手元にあるPCは、家庭でも学校でも使うことになります。

学校のネットワークを介して他のコンピューターにコピー(感染)させてしまったら、自分だけでなく他人にも迷惑をかけてしまいます。そうならないように、ウィルスには十分に気をつけてください。

9.2 ご家庭のPCについて

まず、自宅のPCにウィルス対策ソフトを導入していない場合は、速やかに導入してください。

Window 8以降であれば、標準でMicrosoft製のWindows Defenderという対策ソフトがインストールされているはずなので、大きな心配はありません。しかし、常に最新の状態に更新されるようにしておいてください。

Windows 8以前のOSを使っている場合、できればWindows 10に更新してください。古いOSはサポート期限が切れており、メーカーによるセキュリティ対策が実施されません。これは非常に危険です。更新できない場合は、無料のセキュリティ対策ソフトを導入してください。

なお、最新の状態を保つということは、今日セットアップしたPCでも同様です。

9.3 セキュリティ意識を持つ

自宅でも学校でも、怪しいサイトや怪しいメールは開かないでください。もっとも、 最近は手口が巧妙になってきて、一見しただけでは判断できないこともあるでしょ う。知り合いの名前を騙ったメールが送られてくることもあるかもしれません。

ですから、インターネットからダウンロードしたファイルやメールの添付ファイルは、必ずウィルススキャン(ウィルスが含まれているかを調べる)を行いましょう。

ウィルススキャンの方法はとっても簡単!ファイルを右クリックして、表示されたメニューから「Windows Defenderでスキャンする」を選ぶだけです。

10キーボード操作

キーボードはキーに印刷された文字や記号を入力するためのものです。

英数字・記号

キーに印刷された英数字や記号が入力されます。注意点としては、英字は「小文字」で入力されるということがあります。大文字の入力には次のShiftキーを併用します。

Shift(シフト)

このキーを押しながら別のキーを押すと、英大文字や、キーの上部に印刷されている 記号を入力することができます。

Enter(エンター)

このキーを押すと入力が確定されます。

Space(スペース)

中央下部にある何も書いてない横長のキーのことです。空白を入力する時に使います。

矢印

カーソルやウィンドウを移動させたりスクロールさせるキーです。

半角/全角

日本語入力と英語入力を切り替えるためのキーです。押すたびに切り替わります。 現在の入力モードは画面右下に表示されます([A]なら英語、「あ」なら日本語)。

Esc(エスケープ)

いろいろな動作をキャンセルするキーです。

Tab(タブ)

長い空白(4~8文字分)の入力に使います。

Ctrl(コントロール)

このキーを押しながら別のキーを押すと、アプリによって決められたショートカット機能が使えます。

多くのアプリでは次のような組み合わせが使われます:

Ctrl+X 選択範囲の切り取り

Ctrl+C 選択範囲のコピー

Ctrl+V 切り取りまたはコピーした内容の貼り付け

Ctrl+Z 直前の操作を元に戻す

Ctrl+S 上書き保存

Alt(オルト)

Ctrlキーと同様にショートカット機能に使われます。 Alt+F4 ウィンドウを閉じる(アプリを終了する) Alt+Tab アプリを切り替える

── (Winキー/ウィンドウズ・キー)

スタートメニューを開きます。

また、このキーを押しながら他のキーを押すことでWindowsシステムの機能を呼び出せます。

Win+R 「ファイル名を指定して実行」ウィンドウを開く

Win+E エクスプローラーを開く

Win+D デスクトップの表示/元に戻す

Insert(インサート)

文字の入力モードを切り替えます。最初は挿入モードになっていて、カーソルの位置 に入力した文字が挿入されます。一度押すと上書きモードになり、カーソル位置の文 字が入力した文字で上書きされます。もう一度押すと挿入モードに戻ります。

Delete(デリート)

カーソル位置の文字・記号を削除します。

BackSpace(バックスペース)

カーソル位置の手前にある文字・記号を削除します

F1~F12(ファンクション1~12)

アプリごとに決められたショートカットが登録されています。 例えば日本語入力中は次の機能が割り当てられます。 F6 入力中の文字をひらがなにする F7入力中の文字をカタカナにする F8入力中の文字を半角にする

F9入力中の文字を英数字にする

Fn(拡張ファンクション)

いくつかのキーには、Fnという文字と同じ色の文字や記号が書かれています。 このキーを押しながらそれらのキーを押すと、同じ色の機能が働きます。

11キーボード操作(タイピング)の練習について

11.1 ホームポジション

ゲームの開発では、プログラマーやプランナー、またほかの職種であっても、日々 キーボードを操作して何かを作っています。なにより、学習を進めるうえで、タイピ ングの速度はとても重要です。そのため、ある程度以上の速度でキーボードを打てる ようにならなくてはなりません。

特に、キーボードを見ずにタイピングする「ブラインド・タッチ」ができるようになると、プログラムの入力が劇的に速くなり、結果として授業に集中できるようになります。できれば前期のうちに、遅くとも今年度中には、必ずマスターしてください。

まずは指の置き方を覚えましょう。これまでに学習したことがあるかと思いますが、 以下の図の赤く囲った部分に指を置きます。



左手の人差し指を「F」に置き、中指を「D」、薬指を「S」、小指を「A」に置きます。同様にして、右手の人差し指を「J」に置き、中指を「K」、薬指を「L」、小指を「+」に置きます。両手の親指は、中央下部にある横長のキー(「スペース・バー」または「スペース・キー」といいます)の上に置いてください。

この位置は「ホームポジション」と呼ばれています。単語や文章を打ち終わったとき、指をこの位置に戻して次の入力に備えます。「指の家のような場所」だからホームポジションというわけです。

11.2 タイピングの練習について

さて、上図ではキーが色分けされています。指を置いた位置と同じ色のキーは、その 指で打つキーを示しています。

キーの配置がABC順などと比べて分かりにくいのには、理由があります。それは、英語の文章でよく使われる文字を、人差し指や中指の近くに配置したためです。

文字の位置を覚えるまでは大変だと思いますが、毎日タイピングの練習をすればすぐに慣れますので、安心してください。

まずは練習として、AからZまで順番に入力してみましょう。スタートメニューを開き、左側のリストを下にスクロールして「Windowsアクセサリ」を見つけます。そして、その中にある「メモ帳」というアプリを起動してください。

メモ帳が起動したら、上のキーボード画像を見ながら、AからZまで、順番に、できるだけキーボードを見ないで入力してください。

11.3 タイピング練習アプリ

前述のタイピングの練習をこなせば、それなりにタイピングができるようになっていきます。ただ、あまり面白い練習内容ではありません。そんなふうに感じたら、代わりに「タイピング練習サイト」を利用するとよいでしょう。ブラウザで動作するため、手軽に試すことができます。

例えば「タイピンガーZ」というサイトがあります。Edgeブラウザを起動し、「検索、またはwebアドレスを入力」の部分に「**typingerz.com**」と入力してEnterキーを押してください。すると、次のサイトに移動します。



「0から始めるタイピング」をクリックして、タイピングの練習をしてみてください。 目標は「0から始めるタイピング」の全12ステージを30分以内にこなせるようになることです。

他にも「**寿司打**(すしだ)」というサイトがあります。検索欄に「寿司打」と入力して Enterを押してください。以下のような検索結果が表示されます。



「寿司打」はローマ字入力用のタイピング練習ゲームです。無料&ブラウザで遊べますので、ちょっとした空き時間の練習や暇つぶしにどうぞ。複数の入力に対応しており、表示されているキー以外にもお好みの打ち方でタイピングいただけます。

赤枠で示した「Flashタイピング【寿司打 - SushiDa -】」の部分をクリックすると、寿司 打のホームページに移動します。



「寿司打をPlay(①)」、「静かにPlay(②)」「ふりがなつきでPlay(③)」のいずれかのボタンをクリックすると、ゲームが開始します(開始しない場合は画面をよく読んで、指示に従ってください)。



クリア画面の下部に平均キータイプ数が表示されます。まずはこの数値が「2回/秒」 以上になることを目標にするとよいでしょう。

12本や新聞、雑誌を読むこと

文章を読む力は、タイピングと同じかそれ以上に重要です。

授業ではさまざまなテキストが配布されます。また、インターネットで情報を調べる機会も多くなるでしょう。そのたびに、結構な量の文章を読まなければなりません。 実際、このテキスト自体も、それなりの量の文章からできています。

そういった文章を当たり前に読みこなせるように、普段から本や新聞、雑誌などで文章を読む力を身につけてください。

お気に入りのラノベなど(に限らず、どんな本でも構いません)がある人は、ぜひともクラスメイトに無理やり読ませてあげてください。勧められたほうもいい機会だと思って、とりあえず読んであげてください。そして、お互いに感想を話し合うとよいでしょう。